

平成20年度宅地建物取引主任者 資格試験の結果について

財団法人不動産適正取引推進機構試験部

はじめに

本記述においては、申込者、受験者及び合格者ごとに、まず、主要な傾向が分かるように最近10年間の年度別推移を、続いて、ブロック別、男女別、年代別及び職業別の各内訳並びに職業別平均年齢及び男女別平均年齢について、それぞれデータに基づき説明しています。

次に、登録講習修了者、18歳未満、60歳以上、世代別、団塊の世代及び受付区分別の状況について、それぞれ記述しています。

なお、末尾に、実施結果の概要と総括表・内訳を編綴しています。併せて御参照頂ければ幸いです。

I 申込者

1 概要

宅建試験の受験申込受付は、持参受付を17年度限りで廃止したことにより、18年度以降、郵送受付とインターネット受付の二区分で実施しています。

平成20年度は、郵送受付が7月1日から7月31日まで、インターネット受付が7月1日から7月15日までの間に行いました。

申込者は、260,591人（一般217,750人、登録講習修了者42,841人）で、19年度比では42人減少しました。これを一般と登録講習修了者別にみると、一般は5,144人減少したもの

の、登録講習修了者が5,102人増加し、一般の減少分を登録講習修了者の増加で概ね補充したことになります。

登録講習修了者は、指定講習として制度が廃止した平成9年度から16年度までは4,000人～6,000人台で推移していたものが制度改正の影響により、17年度20,568人（前年度比16,262人増）、18年度30,408人（同9,840人増）、19年度37,739人（同7,331人増）に引き続き、20年度も42,841人（同5,102人増）と増加傾向を持続しています（1-①表）。

なお、受付区分ごとの申込者数は、郵送受付216,884人（前年度比2,980人減）、インターネット受付43,707人（同2,938人増）となっています。

1-①表 申込者年度別推移

年 度	人 数	対前年度比		一 般	登録講習 修了者
平成11年度	222,913	△1,909	△0.8%	216,173	6,740
平成12年度	210,465	△12,448	△5.6%	205,487	4,978
平成13年度	204,629	△5,836	△2.8%	199,934	4,695
平成14年度	209,672	5,043	2.5%	204,915	4,757
平成15年度	210,182	510	0.2%	205,705	4,477
平成16年度	216,830	6,648	3.2%	212,524	4,306
平成17年度	226,665	9,835	4.5%	206,097	20,568
平成18年度	240,278	13,613	6.0%	209,870	30,408
平成19年度	260,633	20,355	8.5%	222,894	37,739
平成20年度	260,591	△42	△0.02%	217,750	42,841

2 申込者の状況

(1) ブロック別

申込者について、ブロック別くブロック

の内訳は、別紙の平成20年度宅建試験実施結果【総括表】（以下「総括表」という。）参照>にみると、一都三県、北陸・東海、九州・沖縄ブロックで増加し、他のブロックでは減少しました。

なお、ブロック別の割合は、例年どおり一都三県が全体の42.5%を占めています。（1-②表）。

1-②表 申込者ブロック別内訳

地域	人数	対前年度比		構成比
北海道・東北	18,823	△29	△0.2%	7.2%
北関東・甲信越	15,956	△50	△0.3%	6.1%
一都三県	110,746	41	0.0%	42.5%
北陸・東海	28,259	282	1.0%	10.8%
近畿	45,754	△928	△2.0%	17.6%
中国・四国	16,114	△381	△2.3%	6.2%
九州・沖縄	24,939	1,023	4.3%	9.6%
【計】	260,591	△42	△0.02%	—

次に、都道府県別にみると、絶対数ではやはり都市部の申込者が多く、最も多い東京が19年度に引き続き5万人を超え、次いで神奈川と大阪の2万人台、続いて、埼玉、千葉、愛知、福岡及び兵庫が1万人台となっています。

増加順では、東京475人、沖縄372人、福岡302人、静岡279人、愛知218人、熊本198人と、前述のように東海と九州・沖縄で増加しています。

なお、減少順では、神奈川307人、京都214人、兵庫196人、埼玉165人、奈良163人、となっています（総括表）。

(2) 男女別

男女別では、男性が192,289人で前年度比1,653人（0.9%）減少し、女性は68,302人で前年度比1,611人（2.4%）増加しています。（1-③表）。

1-③表 申込者男女別内訳

性別	人数	対前年度比		構成比
男	192,289	△1,653	△0.9%	73.8%
女	68,302	1,611	2.4%	26.2%
【計】	260,591	△42	△0.02%	—

(3) 年代別

年代別にみると、20歳未満が3,203人（前年度比32人減）、20代が93,966人（同3,793人減）、30代が86,625人（同361人減）と若年層では減少しました。

一方、40代以上は、40代46,033人（同3,041人増）、50代24,232人（同218人増）、60歳以上6,532人（同885人増）とそれぞれ増加しています。若年層の30代以下が減少し、40代以上が増加したことが20年度の特徴となっています。

なお、全体に占める割合は、例年全体の70%強を占めている20代・30代が、20年度は69.3%（20代36.1%、30代33.2%）と、70%を割り込んでいます（1-④表）。

1-④表 申込者年代別内訳

年代	人数	対前年度比		構成比
20歳未満	3,203	△32	△1.0%	1.2%
20代	93,966	△3,793	△3.9%	36.1%
30代	86,625	△361	△0.4%	33.2%
40代	46,033	3,041	7.1%	17.7%
50代	24,232	218	0.9%	9.3%
60歳以上	6,532	885	15.7%	2.5%
【計】	260,591	△42	△0.02%	—

(4) 職業別

職業別の申込者数は、最も多いのが不動産業の83,842人（前年度比2,019人減）、次いで他業種56,687人（同1,898人増）、建設業44,784人（同48人増）、学生24,056人（同1,760人減）、金融業22,886人（同1,053人増）、その他20,007人（同491人増）、主婦8,329人（同247人増）と例年どおりの順位で続いてい

ます。

増減の状況を見ると、不動産業の2,019人(2.4%)減少、学生の1,760人(6.8%)減少以外、他の職種は増加しています。

平成20年度は、19年度に最も増加した不動産業が減少したことと、学生の減少が特徴となっています。また、金融業は18年度に増加に転じたものが引き続き増加傾向を維持しています(1-⑤表)。

1-⑤表 申込者職業別内訳

職業	人数	対前年度比		構成比
不動産業	83,842	△2,019	△2.4%	32.2%
金融業	22,886	1,053	4.8%	8.8%
建設業	44,784	48	0.1%	17.2%
他業種	56,687	1,898	3.5%	21.8%
学生	24,056	△1,760	△6.8%	9.2%
主婦	8,329	247	3.1%	3.2%
その他	20,007	491	2.5%	7.7%
【計】	260,591	△42	△0.02%	—

職業別の平均年齢は、最も高いのが主婦の39.6歳、次いで他業種38.1歳、その他37.7歳、建設業37.1歳、金融業36.4歳、不動産業33.9歳と例年とおりの順位となっています。(1-⑥表)。

1-⑥表 申込者職業別平均年齢

職業	年齢	対前年度比
不動産業	33.9	0.3
金融業	36.4	0.1
建設業	37.1	0.5
他業種	38.1	0.1
学生	21.6	0.0
主婦	39.6	0.3
その他	37.7	0.7
【全業種平均】	34.9	0.4

また、申込者全体の平均年齢は34.9歳(前年度34.5歳)で、男性は35.6歳(同35.1歳)、女性は33.1歳(同32.7歳)となっています(1-⑦表)。

1-⑦表 申込者男女別平均年齢

性別	年齢
男	35.6
女	33.1
全体	34.9

Ⅱ 受験者

1 概要

平成20年度の試験は、10月19日(日)、全国242会場、4,362試験室で実施しました。

申込者260,591人のうち、51,176人が欠席し、受験者は209,415人で前年度比269人(0.1%)の減となっています(2-①表)。

なお、受験率は80.4%で、19年度の80.5%に比べ、20年度は0.1ポイント低下しました。

2-①表 受験者年度別推移

年度	人数	対前年度比		一般	登録講習修了者
平成11年度	178,384	△1,329	△0.7%	172,340	6,044
平成12年度	168,094	△10,290	△5.8%	163,559	4,535
平成13年度	165,104	△2,990	△1.8%	160,790	4,314
平成14年度	169,657	4,553	2.8%	165,267	4,390
平成15年度	169,625	△32	△0.02%	165,586	4,039
平成16年度	173,457	3,832	2.3%	169,513	3,944
平成17年度	181,880	8,423	4.9%	162,771	19,109
平成18年度	193,573	11,693	6.4%	165,831	27,742
平成19年度	209,684	16,111	8.3%	175,541	34,143
平成20年度	209,415	△269	△0.13%	170,955	38,460

2 受験者の状況

(1) ブロック別

ブロック別の受験率をみると、20年度は一部三県の79.6%を除き、他のブロックでは80%台を確保しています(2-②表)。

なお、都道府県別の受験率をみると、上位五県は、秋田84.1%、青森83.6%、福島82.9%、佐賀82.6%、山形82.4%、下位五県

2-②表 受験者ブロック別内訳

地域	人数	対前年度比		構成比	受験率
北海道・東北	15,165	36	0.2%	7.2%	80.6%
北関東・甲信越	12,772	14	0.1%	6.1%	80.0%
一都三県	88,153	△428	△0.5%	42.1%	79.6%
北陸・東海	22,935	143	0.6%	11.0%	81.2%
近畿	37,148	△602	△1.6%	17.7%	81.2%
中国・四国	13,043	△258	△1.9%	6.2%	80.9%
九州・沖縄	20,199	826	4.3%	9.6%	81.0%
【計】	209,415	△269	△0.13%	—	80.4%

は、福井76.5%、岩手77.5%、宮城78.0%、大分78.3%、徳島78.4%の順となっています(総括表)。

(2) 男女別

男性の受験者は153,833人で、前年度比では1,648人(1.1%)減少し、一方、女性の受験者は55,582人で、同1,379人(2.5%)の増加となっています。

受験率をみると、男性80.0%、女性81.4%と、例年どおり女性の方が高くなっています(2-③表)。

2-③表 受験者男女別内訳

性別	人数	対前年度比		構成比	受験率
男	153,833	△1,648	△1.1%	73.5%	80.0%
女	55,582	1,379	2.5%	26.5%	81.4%
【計】	209,415	△269	△0.13%	—	80.4%

(3) 年代別

受験者を年代別にみると、20代・30代の割合が全体の69.4%(20代が76,708人・36.6%、30代が68,635人・32.8%)と、例年どおり大勢を占めてはいるものの、申込者同様70%を割り込んでいます。他の年代では、40代が2,215人(6.5%)増、50代が160人(0.8%)増、60歳以上が789人(16.6%)増となっています。この若年層の30代以下が減少し、40代以上が増加したことが申込者同様、20年度

の特徴となっています。

受験率については、30代・40代が70%台、他の年代は80%台と、これは例年と同様の状況を示しています(2-④表)。

2-④表 受験者年代別内訳

年代	人数	対前年度比		構成比	受験率
20歳未満	2,764	△65	△2.3%	1.3%	86.3%
20代	76,708	△3,125	△3.9%	36.6%	81.6%
30代	68,635	△243	△0.4%	32.8%	79.2%
40代	36,193	2,215	6.5%	17.3%	78.6%
50代	19,579	160	0.8%	9.3%	80.8%
60歳以上	5,536	789	16.6%	2.6%	84.8%
【計】	209,415	△269	△0.13%	—	80.4%

(4) 職業別

受験者を職業別にみると、最も多いのが不動産業の70,348人、次いで他業種44,102人、建設業34,578人、学生20,260人、金融業17,511人、その他15,803人、主婦6,813人と例年どおりの順となっています。

職業別の構成比をみると、不動産業は、減少はしたものの例年どおり3分の1強の33.6%を占めています。

受験率は、学生84.2%、不動産業83.9%、主婦81.8%が例年同様に80%台を確保し、ほかの職種は80%を切っています(2-⑤表)。

受験者の職業別の平均年齢をみると、高い順に、主婦39.8歳、他業種38.3歳、その他37.9歳、建設業37.1歳、金融業36.6歳、不動産業33.8歳となっており、主婦と他業種が上位にあるのは申込者と同様に例年と変わりはありません(2-⑥表)。

また、受験者全体の平均年齢は34.8歳で、男性は35.5歳、女性は33.0歳となっています(2-⑦表)。

2-⑤表 受験者職業別内訳

職業	人数	対前年度比		構成比	受験率
不動産業	70,348	△1,966	△2.7%	33.6%	83.9%
金融業	17,511	1,308	8.1%	8.4%	76.5%
建設業	34,578	3	0.0%	16.5%	77.2%
他業種	44,102	1,449	3.4%	21.1%	77.8%
学生	20,260	△1,677	△7.6%	9.7%	84.2%
主婦	6,813	301	4.6%	3.3%	81.8%
その他	15,803	313	2.0%	7.5%	79.0%
【計】	209,415	△269	△0.13%	—	80.4%

2-⑥表 受験者職業別平均年齢

職業	年齢	対前年度比
不動産業	33.8	0.2
金融業	36.6	0.1
建設業	37.1	0.5
他業種	38.3	0.0
学生	21.5	0.0
主婦	39.8	0.4
その他	37.9	0.7
【全業種平均】	34.8	0.4

2-⑦表 受験者男女別平均年齢

性別	年齢
男	35.5
女	33.0
全体	34.8

Ⅲ 合格者

1 概要

合格発表は、12月3日(水)に行いました。合格発表に当たっては、都道府県ごとの掲示及び機構ホームページへの掲載に加えて、平成17年に開始した携帯電話を利用して合否の確認ができるシステムを継続して設定しました。

20年度の合格者総数は33,946人(一般25,256人、登録講習修了者8,690人)で、前年

度と比べて2,257人(6.2%)の減となっています(3-①表)。

3-①表 合格者年度別推移

年度	人数	対前年度比		一般	登録講習修了者
平成11年度	28,277	3,347	13.4%	26,365	1,912
平成12年度	25,928	△2,349	△8.3%	24,807	1,121
平成13年度	25,203	△725	△2.8%	24,184	1,019
平成14年度	29,423	4,220	16.7%	28,455	968
平成15年度	25,942	△3,481	△11.8%	24,951	991
平成16年度	27,639	1,697	6.5%	26,735	904
平成17年度	31,520	3,881	14.0%	25,971	5,549
平成18年度	33,191	1,671	5.3%	26,158	7,033
平成19年度	36,203	3,012	9.1%	26,694	9,509
平成20年度	33,946	△2,257	△6.2%	25,256	8,690

受験者数はほぼ前年度並みでしたが、合格率が16.2%と前年度の17.3%から1.1ポイント低下したため、合格者数は5年振りに減少しました。

2 合格者の状況

(1) ブロック別

ブロック別の合格者をみると、例年どおり一都三県が15,414人(合格率17.5%)と、人数・合格率共にトップの位置を堅持しており、この状況は例年と変わりはありません(3-②表)。

3-②表 合格者ブロック別内訳

地域	人数	対前年度比		構成比	合格率
北海道・東北	2,291	△63	△2.7%	6.7%	15.1%
北関東・甲信越	1,790	△146	△7.5%	5.3%	14.0%
一都三県	15,414	△1,185	△7.1%	45.4%	17.5%
北陸・東海	3,698	△210	△5.4%	10.9%	16.1%
近畿	6,025	△364	△5.7%	17.7%	16.2%
中国・四国	1,959	△213	△9.8%	5.8%	15.0%
九州・沖縄	2,769	△76	△2.7%	8.2%	13.7%
【計】	33,946	△2,257	△6.2%	—	16.2%

なお、都道府県別の合格率をみると、上位

五県は、島根18.5%、東京18.2%、京都17.4%、埼玉17.1%、富山17.0%、下位五県は、沖縄11.0%、山梨11.2%、徳島11.7%、佐賀11.8%、宮崎12.3%となっています（総括表）。

(2) 男女別

男女別の合格者をみると、男性が24,172人で前年度比2,378人（9.0%）減、女性が9,774人で同121人（1.3%）増となっています。

一方、男性の合格率は15.7%、女性の合格率は17.6%と、前年度に比べ、男性は1.4ポイント、女性は0.2ポイント低下しました。例年女性の合格率が男性の合格率を2~3ポイント上回っていたものが、19年度は0.7ポイント差まで縮小したことが19年度の特徴でしたが、20年度は1.9ポイントの差がつき、例年同様の女性優位の傾向に戻ったこととなります。

また、その構成比も男性71.2%、女性28.8%と18年度以前のバランスに戻っています（3-③表）。

3-③表 合格者男女別内訳

性別	人数	対前年度比		構成比	合格率
男	24,172	△2,378	△9.0%	71.2%	15.7%
女	9,774	121	1.3%	28.8%	17.6%
【計】	33,946	△2,257	△6.2%	—	16.2%

(3) 年代別

合格者を年代別にみると、合格者数のトップは20代で13,094人（構成比38.6%）、次いで30代の12,121人（同35.7%）、40代5,265人（同15.5%）の順で、この20代から40代までで全体の90%弱を占めている状況は、例年と変わりはありません。

また、年代別の合格率をみると、20代・30代のそれぞれ17.1%・17.7%、40代の14.5%以外はすべて12%台で、これも例年と変わりはありません（3-④表）。

3-④表 合格者年代別内訳

年代	人数	対前年度比		構成比	合格率
20歳未満	338	△17	△4.8%	1.0%	12.2%
20代	13,094	△1,478	△10.1%	38.6%	17.1%
30代	12,121	△583	△4.6%	35.7%	17.7%
40代	5,265	18	0.3%	15.5%	14.5%
50代	2,451	△227	△8.5%	7.2%	12.5%
60歳以上	677	30	4.6%	2.0%	12.2%
【計】	33,946	△2,257	△6.2%	—	16.2%

(4) 職業別

職業別の合格者数は、最も多いのが不動産業の11,079人（構成比32.6%）、次いで他業種7,653人（同22.5%）、建設業3,880人（同11.2%）、学生3,513人（同10.3%）、その他3,338人（同9.8%）、金融業3,036人（同8.9%）、主婦1,447人（同4.3%）の順で、学生が19年度の3位から4位に落ちたことが例年との違いとなっています。

構成比をみると、不動産業の割合が4年振りに低下した一方で、金融業、建設業、主婦の割合が4年振りに増加しました。また、学生は、合格者の減少率が18.2%と最も高く、その構成比も2年連続で低下しました。

職業別の合格率は、主婦の21.2%が最も高く、次いでその他の21.1%、他業種17.4%、学生17.3%、金融業17.3%、不動産業15.7%、建設業11.2%の順となっています。

20年度は、主婦がついに合格率においてトップになり、学生が合格者・合格率の双方共4位に落ちたことがその特徴となっています（3-⑤表）。

合格者の職業別の平均年齢は、主婦が最も高く37.6歳、次いで、他業種37.2歳、建設業36.5%、その他35.6%、金融業35.2%、不動産業33.1%の順で、主婦と他業種が例年どおり高くなっています（3-⑥表）。

3-⑤表 合格者職業別内訳

職業	人数	対前年度比		構成比	合格率
不動産業	11,079	△1,546	△12.2%	32.6%	15.7%
金融業	3,036	419	16.0%	8.9%	17.3%
建設業	3,880	△91	△2.3%	11.4%	11.2%
他業種	7,653	△79	△1.0%	22.5%	17.4%
学生	3,513	△781	△18.2%	10.3%	17.3%
主婦	1,447	96	7.1%	4.3%	21.2%
その他	3,338	△275	△7.6%	9.8%	21.1%
【計】	33,946	△2,257	△6.2%	—	16.2%

3-⑥表 合格者職業別平均年齢

職業	年齢	対前年度比
不動産業	33.1	△0.1
金融業	35.2	△0.3
建設業	36.5	0.4
他業種	37.2	0.1
学生	21.6	△0.1
主婦	37.6	△0.2
その他	35.6	△0.1
【全業種平均】	33.9	0.3

合格者の平均年齢は33.9歳と、申込者の34.9歳及び受験者の34.8歳より低くなっており、この傾向も例年と違いはありません。

なお、合格者の男女別の平均年齢は、男性34.4歳、女性32.5歳となっています（3-⑦表）。

3-⑦表 合格者男女別平均年齢

性別	年齢
男	34.4
女	32.5
全体	33.9

Ⅳ 登録講習修了者の状況

登録講習修了者の状況をみると、申込者42,841人（前年度37,739人）、受験者38,460人（同34,143人）と、申込者・受験者は、17年度以降引き続き増加傾向を持続しています。

また、申込者が全体に占める割合も前年度の14.5%から16.4%へと伸びています。

登録講習修了者の受験率をみると、89.8%と前年度の90.5%と大きな違いはなかったものの、制度創設以降初めて90%を割りました。

一方、合格者については、8,690人（全体の合格者33,946人、構成比25.6%）と、前年度の9,509人（全体の合格者36,203人、構成比26.3%）に比べ、17年度以降では初めて合格者・構成比共に減少に転じました。

合格率も19年度の27.9%に比べ、20年度は22.6%と5.3ポイント低下しました（4-①表）。

受験者数は前年度比で3,400人強増加したにもかかわらず、合格率が17年度以降では最低であったために、登録講習修了者の合格者数が減少したことになります。

4-①表 登録講習修了者受験状況

性別	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
男	31,308	28,049	89.6%	5,985	21.3%
女	11,533	10,411	90.3%	2,705	26.0%
【計】	42,841	38,460	89.8%	8,690	22.6%
全体に占める割合	16.4%	18.4%	—	25.6%	—

V 18歳未満、60歳以上及び世代別等の状況

1 18歳未満

申込者166人（前年度176人）、受験者135人（同161人）、合格者7人（同11人）、合格率5.2%（同6.8%）と、例年と大きな違いはありません（4-②表）。

男性の最年少の合格者は15歳（和歌山）で、女性は16歳（東京）となっています。

なお、これまでの最年少記録は、男性は12歳（18年度・大阪）で、女性は14歳（12年度・神奈川）となっています（4-③表）。

4-②表 18歳未満受験状況

年 齢	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
18歳未満	166	135	81.3%	7	5.2%

4-③表 最年少合格者

性 別	年齢（都道府県）	従来の記録（年度・都道府県）
男	15歳（和歌山）	12歳（18・大阪）
女	16歳（東京）	14歳（12・神奈川）

2 60歳以上

申込者6,532人（19年度5,647人）、受験者5,536人（同4,747人）、合格者677人（同647人）と、それぞれ引き続き増加傾向を持続しています。

合格率は12.2%（同13.6%）と、1.4ポイント低下しています（4-④表）。

男性の最年長の合格者は、79歳（三重）で、女性は71歳（東京）となっています。

なお、これまでの最年長記録は、男性は90歳（17年度・東京）で、女性は80歳（5年度・東京）となっています（4-⑤表）。

4-④表 60歳以上の受験状況

区 分	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
60歳以上	6,532	5,536	84.8%	677	12.2%

4-⑤表 最年長合格者

性 別	年齢（都道府県）	従来の記録（年度・都道府県）
男	79歳（三重）	90歳（17・東京）
女	71歳（東京）	80歳（5・東京）

3 世代別

例年どおり、申込者、受験者及び合格者の99%以上を昭和生まれが占めている状況に変わりはありませんが、遂に大正生まれが合格者ゼロ（申込者18人、受験者16人）となりました。なお、平成生まれの合格者は、19年度

の34人から20年度は233人と三桁になりました（4-⑥表）。

4-⑥表 世代別の受験状況

区 分	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
大 正 生まれ	18	16	88.9%	0	0.0%
	0	0	-	0	-
昭 和 生まれ	18	16	88.9%	0	0.0%
	190,598	152,391	80.0%	23,988	15.7%
	67,620	54,977	81.3%	9,725	17.7%
平 成 生まれ	258,218	207,368	80.3%	33,713	16.3%
	1,673	1,426	85.2%	184	12.9%
	682	605	88.7%	49	8.1%
【計】	2,355	2,031	86.2%	233	11.5%
	192,289	153,833	80.0%	24,172	15.7%
	68,302	55,582	81.4%	9,774	17.6%
	260,591	209,415	80.4%	33,946	16.2%

※注：各世代の上段は男性、下段は女性の数値である。

4 団塊の世代

19年度からいわゆる団塊の世代が定年退職を迎えたために、参考までに団塊の世代の状況を集計したのが4-⑦表です。

4-⑦表 団塊の世代の受験状況

生年月日	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
22.4.2~23.4.1	1,466	1,226	83.6%	161	13.1%
23.4.2~24.4.1	1,777	1,478	83.2%	181	12.2%
24.4.2~25.4.1	2,015	1,677	83.2%	193	11.5%
【計】	5,258	4,381	83.3%	535	12.2%

5 受付区分別

同様に参考として、受験申込受付区分別に集計したものが4-⑧表です。

4-⑧表 受付区分別の受験状況

区 分	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
郵 送	216,884	173,575	80.0%	26,648	15.4%
インターネット	43,707	35,840	82.0%	7,298	20.4%
【計】	260,591	209,415	80.4%	33,946	16.2%

透を図っていく必要があると考えています。

良好な受験環境の整備・確保に併せて、関係各位の御協力をお願いする次第です。

Ⅵ 正解番号及び合否判定基準

1 正解番号

正解番号は、後記資料「平成20年度宅地建物取引主任者資格試験正解番号表」のとおりです。正解番号は、都道府県ごとに合格発表日以降、原則として3日間、合格者名簿・合否の判定基準と共に掲示しています。

なお、機構のホームページ (<http://www.retio.or.jp>) には、合格者受験番号・正解番号・合否の判定基準を合格発表日以降2か月間掲載しています。

2 合否判定基準

平成20年度の合否判定基準は、50問中「33問以上」としています。ただし、登録講習修了者（宅地建物取引業法第16条第3項の規定により試験の一部を免除された者）については、45問中「28問以上」としています。

おわりに

平成20年度の宅地建物取引主任者資格試験は、平成17年度にインターネット受付を導入して以来4年目を迎え、インターネット受付数は、19年度の40,769人（構成比15.6%）に比べて、43,707人（同16.8%）と、人数・構成比共に前年度の実績を上回ることができました。

しかし、当面の目標である20%の確保に向けては、これまでも増して、その周知・浸

平成20年度宅地建物取引主任者資格試験実施結果【概要】

1 受付総数

(単位：人)

20年度	19年度	増(▲)減	増減率(%)	備考
260,591	260,633	▲42	▲0.02	19年度→20,355人、8.5%増

2 各種区分別

(単位：人)

区分	申込者	受験者	合格者	合格率(%)	備考	
全体	260,591	209,415	33,946	16.2		
男性	192,289	153,833	24,172	15.7		
女性	68,302	55,582	9,774	17.6		
一般受験者	217,750	170,955	25,256	14.8		
男性	160,981	125,784	18,187	14.5		
女性	56,769	45,171	7,069	15.6		
登録講習修了者	42,841	38,460	8,690	22.6		
男性	31,308	28,049	5,985	21.3		
女性	11,533	10,411	2,705	26.0		
平均年齢	34.9	34.8	33.9	—		
男性	35.6歳	35.5歳	34.4歳	—		
女性	33.1歳	33.0歳	32.5歳	—		
年代別	20歳未満	3,203	2,764	338	12.2	最年少合格者：15歳・男
	20代	93,966	76,708	13,094	17.1	
	30代	86,625	68,635	12,121	17.7	
	40代	46,033	36,193	5,265	14.5	
	50代	24,232	19,579	2,451	12.5	
	60歳以上	6,532	5,536	677	12.2	最年長合格者：79歳・男
	[計]	260,591	209,415	33,946	16.2	
職業別	不動産業	83,842	70,348	11,079	15.7	
	金融業	22,886	17,511	3,036	17.3	
	建設業	44,784	34,578	3,880	11.2	
	他業種	56,687	44,102	7,653	17.4	
	学生	24,056	20,260	3,513	17.3	
	主婦	8,329	6,813	1,447	21.2	
	その他	20,007	15,803	3,338	21.1	
	[計]	260,591	209,415	33,946	16.2	
世代別	大正生まれ	18	16	0	0.0	
	昭和生まれ	258,218	207,368	33,713	16.3	
	平成生まれ	2,355	2,031	233	11.5	
	[計]	260,591	209,415	33,946	16.2	
受付別	郵送	216,884	173,575	26,648	15.4	
	インターネット	43,707	35,840	7,298	20.4	
	[計]	260,591	209,415	33,946	16.2	
18歳未満	166	135	7	5.2		
団塊の世代	5,258	4,381	535	12.2		

平成20年度宅地建物取引主任者資格試験実施結果【総括表】

		申込者		前年度比		受験者	受験率	合格者	合格率
		20年度	19年度	増(▲)減	増(▲)減率				
北海道・東北	北海道	7,507	7,510	▲3	▲0.04	6,065	80.8	980	16.2
	青森	1,201	1,270	▲69	▲5.4	1,004	83.6	148	14.7
	岩手	1,404	1,373	31	2.3	1,088	77.5	140	12.9
	宮城	4,423	4,326	97	2.2	3,448	78.0	520	15.1
	秋田	941	1,023	▲82	▲8.0	791	84.1	103	13.0
	山形	1,108	1,139	▲31	▲2.7	913	82.4	129	14.1
北関東・甲信越	福島	2,239	2,211	28	1.3	1,856	82.9	271	14.6
	茨城	4,023	3,999	24	0.6	3,227	80.2	464	14.4
	栃木	2,551	2,602	▲51	▲2.0	2,016	79.0	271	13.4
	群馬	2,918	2,975	▲57	▲1.9	2,379	81.5	364	15.3
	新潟	2,709	2,577	132	5.1	2,157	79.6	306	14.2
	山梨	1,219	1,236	▲17	▲1.4	978	80.2	110	11.2
一都三県	長野	2,536	2,617	▲81	▲3.1	2,015	79.5	275	13.6
	埼玉	18,809	18,974	▲165	▲0.9	15,155	80.6	2,590	17.1
	千葉	15,409	15,371	38	0.2	12,352	80.2	2,064	16.7
	東京都	50,996	50,521	475	0.9	40,046	78.5	7,271	18.2
北陸・東海	神奈川	25,532	25,839	▲307	▲1.2	20,600	80.7	3,489	16.9
	富山	1,151	1,136	15	1.3	932	81.0	158	17.0
	石川	1,730	1,851	▲121	▲6.5	1,403	81.1	215	15.3
	福井	791	823	▲32	▲3.9	605	76.5	102	16.9
	岐阜	2,671	2,765	▲94	▲3.4	2,174	81.4	345	15.9
	静岡	5,964	5,685	279	4.9	4,841	81.2	711	14.7
近畿	愛知	13,511	13,293	218	1.6	11,012	81.5	1,845	16.8
	三重	2,441	2,424	17	0.7	1,968	80.6	322	16.4
	滋賀	2,396	2,550	▲154	▲6.0	1,914	79.9	264	13.8
	京都	6,022	6,236	▲214	▲3.4	4,865	80.8	847	17.4
	大阪	21,871	22,001	▲130	▲0.6	17,705	81.0	2,789	15.8
	兵庫	11,511	11,707	▲196	▲1.7	9,443	82.0	1,609	17.0
中国・四国	奈良	2,921	3,084	▲163	▲5.3	2,397	82.1	378	15.8
	和歌山	1,033	1,104	▲71	▲6.4	824	79.8	138	16.7
	鳥取	496	579	▲83	▲14.3	401	80.8	60	15.0
	島根	721	836	▲115	▲13.8	577	80.0	107	18.5
	岡山	2,882	2,826	56	2.0	2,345	81.4	358	15.3
	広島	5,101	5,163	▲62	▲1.2	4,178	81.9	613	14.7
	山口	1,612	1,624	▲12	▲0.7	1,296	80.4	203	15.7
	徳島	961	1,014	▲53	▲5.2	753	78.4	88	11.7
九州・沖縄	香川	1,467	1,547	▲80	▲5.2	1,172	79.9	172	14.7
	愛媛	2,039	2,021	18	0.9	1,644	80.6	261	15.9
	高知	835	885	▲50	▲5.6	677	81.1	97	14.3
	福岡	11,677	11,375	302	2.7	9,501	81.4	1,410	14.8
九州・沖縄	佐賀	869	863	6	0.7	718	82.6	85	11.8
	長崎	1,565	1,548	17	1.1	1,275	81.5	175	13.7
	熊本	2,644	2,446	198	8.1	2,160	81.7	293	13.6
	大分	1,440	1,449	▲9	▲0.6	1,128	78.3	158	14.0
	宮崎	1,224	1,231	▲7	▲0.6	1,005	82.1	124	12.3
	鹿児島	2,381	2,237	144	6.4	1,913	80.3	250	13.1
【合計】	沖縄	3,139	2,767	372	13.4	2,499	79.6	274	11.0
		260,591	260,633	▲42	▲0.02	209,415	80.4	33,946	16.2

平成20年度宅地建物取引主任者資格試験実施結果【内訳】

		一般受験者					登録講習修了者				
		申込者	受験者	受験率	合格者	合格率	申込者	受験者	受験率	合格者	合格率
北海道・東北	北海道	6,150	4,852	78.9	725	14.9	1,357	1,213	89.4	255	21.0
	青森	1,083	897	82.8	123	13.7	118	107	90.7	25	23.4
	岩手	1,276	970	76.0	115	11.9	128	118	92.2	25	21.2
	宮城	3,851	2,950	76.6	424	14.4	572	498	87.1	96	19.3
	秋田	839	693	82.6	85	12.3	102	98	96.1	18	18.4
	山形	1,004	815	81.2	109	13.4	104	98	94.2	20	20.4
北関東・甲信越	福島	2,001	1,638	81.9	221	13.5	238	218	91.6	50	22.9
	茨城	3,436	2,696	78.5	359	13.3	587	531	90.5	105	19.8
	栃木	2,203	1,694	76.9	212	12.5	348	322	92.5	59	18.3
	群馬	2,534	2,028	80.0	293	14.4	384	351	91.4	71	20.2
	新潟	2,377	1,847	77.7	249	13.5	332	310	93.4	57	18.4
	山梨	1,106	873	78.9	92	10.5	113	105	92.9	18	17.1
一都三県	長野	2,241	1,746	77.9	214	12.3	295	269	91.2	61	22.7
	埼玉	15,339	12,069	78.7	1,857	15.4	3,470	3,086	88.9	733	23.8
	千葉	12,776	10,014	78.4	1,512	15.1	2,633	2,338	88.8	552	23.6
	東京都	40,863	31,052	76.0	5,053	16.3	10,133	8,994	88.8	2,218	24.7
北陸・東海	神奈川	20,355	15,965	78.4	2,463	15.4	5,177	4,635	89.5	1,026	22.1
	富山	979	773	79.0	112	14.5	172	159	92.4	46	28.9
	石川	1,477	1,169	79.1	180	15.4	253	234	92.5	35	15.0
	福井	686	511	74.5	77	15.1	105	94	89.5	25	26.6
	岐阜	2,365	1,889	79.9	270	14.3	306	285	93.1	75	26.3
	静岡	5,188	4,117	79.4	552	13.4	776	724	93.3	159	22.0
近畿	愛知	11,493	9,176	79.8	1,464	16.0	2,018	1,836	91.0	381	20.8
	三重	2,075	1,627	78.4	248	15.2	366	341	93.2	74	21.7
	滋賀	2,062	1,609	78.0	204	12.7	334	305	91.3	60	19.7
	京都	5,153	4,082	79.2	644	15.8	869	783	90.1	203	25.9
	大阪	18,116	14,367	79.3	2,055	14.3	3,755	3,338	88.9	734	22.0
	兵庫	9,707	7,814	80.5	1,234	15.8	1,804	1,629	90.3	375	23.0
中国・四国	奈良	2,527	2,037	80.6	294	14.4	394	360	91.4	84	23.3
	和歌山	907	719	79.3	114	15.9	126	105	83.3	24	22.9
	鳥取	439	348	79.3	45	12.9	57	53	93.0	15	28.3
	島根	635	498	78.4	86	17.3	86	79	91.9	21	26.6
	岡山	2,545	2,036	80.0	292	14.3	337	309	91.7	66	21.4
	広島	4,353	3,489	80.2	489	14.0	748	689	92.1	124	18.0
	山口	1,373	1,084	79.0	153	14.1	239	212	88.7	50	23.6
	徳島	886	679	76.6	67	9.9	75	74	98.7	21	28.4
九州・沖縄	香川	1,274	995	78.1	131	13.2	193	177	91.7	41	23.2
	愛媛	1,826	1,447	79.2	219	15.1	213	197	92.5	42	21.3
	高知	749	601	80.2	76	12.6	86	76	88.4	21	27.6
	福岡	9,697	7,741	79.8	1,047	13.5	1,980	1,760	88.9	363	20.6
	佐賀	797	653	81.9	73	11.2	72	65	90.3	12	18.5
	長崎	1,401	1,122	80.1	142	12.7	164	153	93.3	33	21.6
九州・沖縄	熊本	2,307	1,859	80.6	229	12.3	337	301	89.3	64	21.3
	大分	1,259	956	75.9	130	13.6	181	172	95.0	28	16.3
	宮崎	1,113	902	81.0	102	11.3	111	103	92.8	22	21.4
	鹿児島	2,097	1,647	78.5	200	12.1	284	266	93.7	50	18.8
九州・沖縄	沖縄	2,830	2,209	78.1	221	10.0	309	290	93.9	53	18.3
	【合計】	217,750	170,955	78.5	25,256	14.8	42,841	38,460	89.8	8,690	22.6

平成20年度宅地建物取引主任者資格試験正解番号表

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問10
1	1	3	4	4	2	3	3	1	1
問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	問19	問20
4	3	4	3	3	2	3	4	2	3
問21	問22	問23	問24	問25	問26	問27	問28	問29	問30
1	2	1	2	3	4	4	1	2	3
問31	問32	問33	問34	問35	問36	問37	問38	問39	問40
2	4	3	4	4	2	4	1	4	1
問41	問42	問43	問44	問45	問46	問47	問48	問49	問50
2	1	2	3	1	4	2	4	3	2